

# 力をあわせて 市民協働のまちづくり ③1



市民協働のまちづくりを一緒に考えていきます！

## 市民協働推進委員会の活動

市民協働推進委員会は、学識経験者、市民活動団体・住民組織の関係者、一般公募の市民などで構成されています。委員会では、市民協働のまちづくり指針の具体的な施策や取り組みについての検討・評価を行っています。

これまで、市民協働のまちづくり推進計画をはじめ、市民提案型協働事業の創設や、市民協働のホームページみはら市民協働サイトつなごうねっとの開設に当たっても協議や検討を行いました。

また、平成20年度から開催している市民協働のまちづくりフォーラムについても、企画段階から携わっています。



▲昨年9月に開催された委員会のお様子

### 市民協働推進委員会の委員を募集します

市民協働のまちづくり推進計画に沿って、具体的に協働のまちづくりを進めるための取り組みを検討する委員を募集します。

任期 2年 募集人数 2人程度

応募資格 市内に住む20歳以上の人

申し込み 18日(金)(消印有効)までに、応募用紙(まちづくり推進課、各支所の地域振興課、市ホームページに用意)に住所、名前、生年月日、電話番号、職業、経歴、応募の動機、協働のまちづくりについての意見(400字程度)を記入し、郵送、ファクス、またはEメールでまちづくり推進課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848・67・6184 ㊚0848・67・6199 ㊗machizukuri@city.mihara.hiroshima.jp)へ

今後、市では委員会と市民協働の取り組みについて検討を重ねながら、市民協働のまちづくりを進めていきます。

問い合わせ先 まちづくり推進課 ☎0848・67・6184

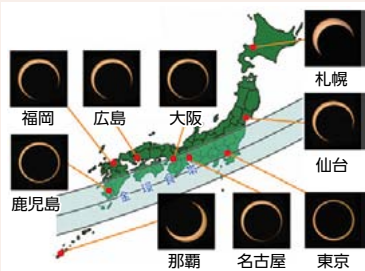
## きらっと☆宇根山天文台 ⑦

### 金環日食がやってくる

日食は、太陽が月によって隠されることにより、太陽が欠けて見える天文現象です。特に、月の見かけの大きさが太陽よりも小さい場合は、月が太陽の内側へ完全に入り込んで、太陽は細いリング状に見えます。これを金環日食と呼びます。

太陽の一部分が欠けて見える日食は、数年に一度の割合で見ることができますが、

金環日食や皆既日食となると、日本では10年から数十年に一度の割合でしか見ることができません。



▲5月21日の日食の見え方

### 問い合わせ先

青少年女性課 ☎0848・64・9234、宇根山天文台 ☎0847・32・7145

今月21日(月)、日本では25年ぶりに太平洋側を中心とした広い範囲で、金環日食を見ることができます。三原市では、7時30分ごろに太陽の約92%を月が隠す、部分日食になると予測されています。

今回の日食は、私たちの地球が宇宙の中にあることを実感できる、またとないチャンスです。ぜひ宇根山天文台で、25年ぶりの天体ショーを楽しんでください。

※注意: 専用のメガネ以外での太陽の観察は、目に危険なため絶対にやめてください。

### 金環日食観望会

とき 21日(月) 6時~9時  
入館料 大人310円、中学生・高校生210円、小学生100円  
※希望者は直接会場へ。

人権標語 (小学5年生の作品)  
なくそうよ 差別いしきのある心  
なくそうとする仲間をどんどん増やしていきますよ。